【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2001-511668(P2001-511668A)
【公表日】平成13年8月14日(2001.8.14)
【出願番号】特願平10-532911
【国際特許分類第７版】
Ａ６１Ｎ　5/06
Ａ６１Ｍ　37/00
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　5/06　Ｅ
Ａ６１Ｍ　37/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月12日(2005.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１７年　１月１２日

特許庁長官殿

適

１．　事件の表示

平成１０年特許願第５３２９１１号

２．　補正をする者

氏名（名称）　トランスメディカ・インターナショナル・インコーポレイテッド

特許庁 17.1.13 出願支援課 田中

３．　代理人

住所　〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見１丁目３番７号　ＩＭＰビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261　ＦＡＸ 06-6949-0361

氏名　弁理士　(6214) 青山　葆

４．　補正対象書類名　請求の範囲

５．　補正対象項目名　請求の範囲

６．　補正の内容
別紙のとおり

７．その他

補正は、当初請求項が産業上の有用性を欠くとみられる方法に関していたので、全般的に装置自体に関する請求項に改めたものであり、いずれも明細書本文で詳細に説明されています。

(別紙)

請求の範囲

１．患者の皮膚における変質または少なくとも部分的な剥離の部位を１以上の光線の適用によってつくり、物質を変質または少なくとも部分的な剥離の部位に適用するための薬剤送達装置であって、下記：

ハウジング；

１以上の光線を照射し得るハウジング中のレーザー材；および

物質を変質または少なくとも部分的な剥離の部位に送達するために、ハウジングに結合された送達装置、

を含む装置。

２．送達装置が、物質の量を保持するための容器を含む、請求項１の装置。

３．送達装置が、レーザーにより照射された１以上の光線が皮膚を通過するのを可能にする、請求項１または２の装置。

４．容器が加圧下にある、請求項２の装置。

５．レーザー材が、皮膚の角質層が少なくとも部分的に剥離されるように予め決定されたエネルギーを有する１以上の光線を照射するために、適合される、請求項１の装置。

６．レーザー材が、皮膚の毛細層を刺激することなく皮膚の角質層が刺激されるように予め決定されたエネルギーを有する１以上の光線を照射するように、さらに適合される、請求項１の装置。

７．変質または少なくとも部分的な剥離の部位が、直径０．５ミクロン－５．０ｍｍを有する、請求項１の装置。

８．レーザー材が、波長２．９４ミクロンを有する１以上の光線を照射するように、さらに適合される、請求項１の装置。

９．レーザー材が、患者の皮膚上に複数の光線を同時に照射するように、さらに適合される、請求項１の装置。

１０．複数の光線をつくるためにハウジング中に配置される光線分割器をさらに含む、請求項９の装置。

１１．送達装置が、物質が皮膚上に噴霧されるように、物質を変質または少なく

とも部分的な剥離の部位に送達するために、容器に連結された噴霧器を含む、請求項２の装置。

１２．送達装置が、回転器が皮膚にそって回転するにつれ、皮膚上に物質が塗布されるように、物質を変質または少なくとも部分的な剥離の部位に送達するために、容器に連結された回転器を含む、請求項２の装置。

１３．レーザー材が、Ｅｒ：ＹＡＧ、パルスCO_2、Ho：ＹＡＧ、Ｅr：ＹＡＰ、Er／Cr：ＹＳＧＧ、Ho：ＹＳＧＧ、Ｅr：ＧＧＳＧ、Ｅr：ＹＬＦ、Tm：ＹＡＧ、Ho/Nd：$YAlO_3$、コバルト：MgF_2、ＨＦ薬品、ＤＦ薬品、一酸化炭素、深ＵＶレーザー、ダイオードレーザーおよび周波数三重化Nd：ＹＡＧレーザー、およびこれらのすべての組合せよりなる群から選ばれる、請求項１の装置。

１４．レーザー材が皮膚上に１以上の光線を照射し得るものであり、１以上の光線が波長０．２－１０ミクロン、パルス幅１フェムト秒－１０００マイクロ秒およびエネルギー・フルエンス０．０３－９．６J/cm^2を有する、請求項１３の装置。

１５．装置が、皮膚の変質または部分的な剥離により生成されたものを採取するための容器をさらに含む、請求項５の装置。

１６．ものを採取するための容器が、皮膚により生成された液体を採取するように適合される、請求項１５の装置。

１７．ものを採取するための容器が、皮膚により生成された気体を採取するように適合される、請求項１５の装置。

１８．皮膚の角質層の透過性を増大するためのレーザー装置であって、下記：

ハウジング；および

光線が角質層に適用されると、角質層の透過性を変化させるような予め決定されたエネルギーを有する１以上の光線を照射し得るハウジング中のレーザー材、を含むレーザー装置。

１９．レーザー材が、１以上の光線が皮膚の毛細層を刺激することなく皮膚の角質層が刺激されるように予め決定されたエネルギーを有するように、さらに適合される、請求項１８のレーザー装置。

２０．該予め決定されたエネルギーが、光線が角質層に適用されたときに、
角質層が少なくとも部分的に剥離されるようなものである、請求項１８のレーザ

一装置。

２１．該予め決定されたエネルギーが、光線が角質層に適用されたときに、角質層が部分的に剥離されるようなものである、請求項１８のレーザー装置。

２２．該予め決定されたエネルギーが、光線が角質層に適用されたときに、角質層が部分的に剥離されないようなものである、請求項１８のレーザー装置。

２３．レーザー材が、波長０．２－１０ミクロンを有する１以上の光線を照射するように、適合される、請求項１８－２２のいずれかのレーザー装置。

２４．レーザー材が、波長２．９４ミクロンを有する１以上の光線を照射するように、さらに適合される、請求項２３のレーザー装置。

２５．レーザー材が、Ｅｒ：ＹＡＧ、パルスCO_2、Ｈｏ：ＹＡＧ、Ｅｒ：ＹＡＰ、Ｅｒ／Ｃｒ：ＹＳＧＧ、Ｈｏ：ＹＳＧＧ、Ｅｒ：ＧＧＳＧ、Ｅｒ：ＹＬＦ、Ｔｍ：ＹＡＧ、Ｈｏ/Ｎｄ：$YAlO_3$、コバルト：MgF_2、ＨＦ薬品、ＤＦ薬品、一酸化炭素、深ＵＶレーザー、ダイオードレーザーおよび周波数三重化Ｎｄ：ＹＡＧレーザー、およびこれらのすべての組合せよりなる群から選ばれる、請求項１８－２４のいずれかのレーザー装置。

２６．レーザー材が、エネルギー・フルエンス０．０３－９．６J/cm^2を有する１以上の光線を照射するように、さらに適合される、請求項１８－２５のいずれかのレーザー装置。

２７．レーザー材が、患者の皮膚上に複数の光線を同時に照射するように、さらに適合される、請求項１８－２６のいずれかのレーザー装置。

２８．複数の光線をつくるためにハウジング中に配置される光線分割器をさらに含む、請求項２７のレーザー装置。

２９．物質を光線の適用部位に送達するための装置をさらに含む、請求項１８－２８のいずれかのレーザー装置。

３０．ハウジングに取り付け得る容器を含む、請求項２９のレーザー装置。

３１．噴霧器を含む、請求項２９のレーザー装置。

３２．回転器を含む、請求項２９のレーザー装置。